

初山別村社会教育施設等個別施設計画

令和4年3月

初山別村教育委員会

目 次

1	策定の目的と位置づけ	1
2	計画期間	1
3	標準使用年数の設定	1
4	劣化状況の基準及び対象施設	
	（1）劣化状況に係る評価の基準	2
	（2）対象施設及び劣化状況	2
5	個別施設に係る方針	
	（1）個別施設の今後の方針に係る用語の定義	2
	（2）個別施設ごとの方針	3
	（3）対策の優先順位に係る考え方	3
	（4）個別施設計画シート	4～12

初山別村社会教育施設・社会体育施設 一覧

施設 No.	施設名
1	初山別村自然交流センター
2	しょさんべつ天文台
3	初山別村簡易郷土資料館
4	初山別村スポーツセンター
5	初山別村スキー場
6	初山別村スポーツ公園 野球場
7	初山別村スポーツ公園 村民プール
8	豊岬体育館
9	有明体育館

1 策定の目的と位置づけ

本計画は、本村の社会教育施設及び社会体育施設（以下、社会教育施設等）について、中長期的な視野で適正な規模と今後のあり方を検討し、効率的かつ効果的な維持管理を実現することを目的としています。また、具体的かつ計画的な方向性を示すため、個別施設ごとに対応方針を策定しています。

なお、本計画は国のインフラ長寿命化基本計画で示された「個別施設毎の長寿命化計画（個別施設計画）」及び平成28年度に策定された「初山別村公共施設等総合管理計画」等との整合性を確保しつつ社会教育施設等の維持管理等に関する考え方や取組み方について示すものとします。

2 計画期間

計画期間は、令和4年度から令和10年度の7年間とします。なお、火災や地震、津波等の災害やコロナ禍による利用の変動等といった社会情勢により社会教育施設等を取りまく環境は変化しうるため、期間内でも必要に応じて見直しを行えるものとします。

3 標準使用年数の設定

施設の寿命を想定する典型的な指標の一つとして「法定耐用年数（※1）」が存在しますが、実際には「法定耐用年数」を超過して公共施設が使用されている場合が珍しくありません。そのため、「建築物の耐久計画に関する考え方（※2）」の範囲に基づき、計画建替え年数平均値（採用値）を次のとおり設定して個別施設ごとの維持管理及び長寿命化等の目安とし、今後の方針を策定する上での参考とします。

※1 固定視線の減価償却費を算出するために税法で定められた年数。

※2 日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」より抜粋

建築物の構造	建築物の耐久計画に関する考え方の範囲	計画建替え年数平均値（採用値）
RC造（鉄筋コンクリート造）	50～80年	65年
SRC造（鉄骨鉄筋コンクリート造）		
S造（重量）（鉄骨造）		
CB造（コンクリートブロック造） ※SB造（セラミックブロック造） はCB造に準じる。		
S造（軽量）（鉄骨造）	30～50年	40年
W造（木造）		

4 劣化状況の基準及び対象施設

本計画に係る劣化状況の評価の基準は（１）のとおり定めることとします。
また、（２）のとおり本計画の対象となる社会教育施設等について、目視により劣化状況の評価しました。

（１）劣化状況に係る評価の基準

評価	劣化状況の基準
A	概ね良好
B	部分的に劣化（安全上や機能上、問題無し）
C	広範囲に劣化（安全上や機能上、不具合発生の兆しが見られる）
D	早急に対応する必要がある（安全上や機能上、問題有り※） ※駆体の耐久性に影響を与えている ※設備が故障して施設運営に支障を与えている 等
－	該当無し

（２）対象施設及び劣化状況

No.	施設名	施設概要							構造・設備毎の劣化状況									
		建築年度	改築年度	経過年数	標準使用年数	耐用年数	延床面積 (㎡)	構造種目	耐震化	地上階	屋根等	外壁	内装	電気	給排水	空調	その他	外構
1	初山別村自然交流センター	H6	H29	27	65	38	2552.9	RC	不要	2	B	A	B	A	B	B	B	B
2	しょさんべつ天文台	H1	H24	32	65	33	339.8	RC	不要	3	D	D	B	B	C	-	B	C
3	初山別村簡易郷土資料館	H9	-	24	65	41	1237.5	RC	不要	2	B	B	A	B	B	-	B	-
4	初山別村スポーツセンター	S45	H13	20	65	45	998.8	S	未実施	2	C	C	B	C	B	C	C	-
5	初山別村スキー場	S63	H10	23	65	42	38.9	W	不要	1	A	B	B	C	B	-	B	-
6	初山別村スポーツ公園 野球場	S58	-	38	65	27	17.3	RC	未実施	1	B	B	B	C	C	-	C	-
7	初山別村スポーツ公園 村民プール	H14	-	19	65	46	590.6	RC	不要	1	C	B	B	B	B	C	C	-
8	豊岬体育館	H4	H28	29	65	36	605.0	S	実施済	1	C	C	B	C	B	D	C	-
9	有明体育館	H16	H17	17	65	48	605.0	W	実施済	1	B	C	D	B	B	B	B	-

※ 基準年月 令和4年1月末日現在

※ 耐用年数 = 標準使用年数 - 経過年数

5 個別施設に係る方針

（１）個別施設の今後の方針に係る用語の定義

存続	施設を維持すること
更新	施設の建替え（移転・統合及び複合化による建替えを含む）をすること
廃止	施設を廃止すること
統合	類似施設の機能を、当該施設へ集約すること
複合化	異なる機能を持つ施設を、当該施設へ集約すること
未定	上記の方針に絞れていないもの（当面は存続と同じ取扱い）

(2) 個別施設ごとの方針

個別施設に係る今後7年間の方針を、下記のとおりとします。なお、当該方針は社会情勢の変化や想定以上に劣化状況が進んだ場合等に応じて適宜本計画の見直しを実施しながら取り組みます。

No.	施設名	本計画期間内の方針	
1	初山別村自然交流センター	存続	年間 5,000～10,000 名の利用があり、改修後 4 年であることから現施設を維持する。
2	しょさんべつ天文台	存続	年間 3,000 名の利用があり、ランドマーク的な性質も併せ持っているため、現施設を維持する。
3	初山別村簡易郷土資料館	存続	令和 2 年度に移設を完了し、かつ本建造物は築 24 年であるため、現施設を維持する。
4	初山別村スポーツセンター	未定	築 51 年、改修後 20 年経過しているが、年間 2,000 名～3,000 名の利用があり、かつ改修等の方向性が定まっていないため、当面の間は現施設を維持する。
5	初山別村スキー場	存続	年間 700～800 名の利用があり村内小中学生の授業やスキー連盟の社会体育活動に活用されているため、現施設を維持する。
6	初山別村スポーツ公園 野球場	存続	村軟式野球連盟加盟団体等の社会体育活動で活用されていることから、当面の間は現施設を維持する。
7	初山別村スポーツ公園 村民プール	存続	年間 500～700 名の利用があり村内小中学生の授業活用等もされているため、当面の間は現施設を維持する。
8	豊岬体育館	未定	年間 500～800 名の利用があり、集落内の社会体育活動の拠点として活用されているため、当面の間は現施設を維持する。
9	有明体育館	未定	年間 200～400 名の利用があり、集落内の社会体育活動の拠点として活用されているため、当面の間は現施設を維持する。

(3) 対策の優先順位に係る考え方

対策の優先順位の考え方は、施設の機能や役割、利用状況等を考慮し、改修が必要な箇所の優先順位を考えるものとします。

(4) 個別施設計画シート

個別施設計画シート No.1

1. 基本情報

施設名	初山別村自然交流センター	延床面積	2552.90 m ²
所在地	字初山別 155 番地 1	建築年度	平成 6 年度
構造種別	RC 造 (鉄筋コンクリート造)	階 数	2 階
村防災計画上の位置づけ	指定避難所及び指定緊急避難場所		
本施設の機能及び重要性等			
本村の社会教育の発展と文化の振興を目的とするため、旧公民館の後継施設として建設された。館内に図書室を備え、社会教育以外の様々な集会活動にも活用されている。			

2. 施設の現況

現況写真	
	
劣化・損傷の状況や要因等	
平成 29 年度に外壁改修を実施したが、正面玄関側の風除室や 2 階小ホールでは、雨風が激しい時に室内へ雨漏りしている箇所が見られる。また、館内の電気設備や空調設備等は建設時から更新されていない箇所が多く、近年は不調になる事態が複数生じている。	

3. 計画期間内の個別施設計画

基本方針	存続	個別スケジュール	令和 5 年度 窓改修工事 (14,306 千円)
方針説明	年間 5,000~10,000 名程度の利用。改修後 4 年であるため現施設を維持。		
優先順位	躯体や屋根等の建物維持、電気設備、空調、給排水の機能維持を優先。		

4. 施設利用者の需要

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	備考
利用者数	7,577	8,849	5,202	

5. 施設の維持管理に係る経費等

(単位：円)



年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	備考
収 入	97,370	74,020	67,395	利用料
保守コスト	6,946,481	4,319,369	5,163,487	
運用コスト	7,526,464	6,883,914	6,202,439	
修繕コスト	8,325,852	8,502,575	1,685,318	
支 出 計	22,798,797	19,705,858	13,051,244	

個別施設計画シート No.2

1. 基本情報

施設名	しょさんべつ天文台	延床面積	339.80 m ²
所在地	字豊岬 130 番地 1	建築年度	平成元年度
構造種別	RC 造 (鉄筋コンクリート造)	階 数	3 階
村防災計画上の位置づけ	-		
本施設の機能及び重要性等			
天文知識の普及を主目的とした本村の社会教育施設であり、同時に村の観光及びランドマーク的要素も兼ね備えている。開館期間は、冬季休館期間 (12~2月) を除く3月から11月の機関で、道内外より年間 3,000 人前後の来館者がある。			

2. 施設の現況

現況写真	
	
劣化・損傷の状況や要因等	
平成 24 年度に防水等工事、平成 27 年度に玄関前のブロック補修を実施しているが塩分を含む風雨 (風雪) に晒され窓枠や天井、外内壁表面等、各所で腐食等が進んでいる。	

3. 計画期間内の個別施設計画

基本方針	存続	個別スケジュール	令和 4 年度 天井等改修工事 (36,500 千円)
方針説明	令和 4 年度に天井や窓枠等の改修を実施し、現施設を維持。		
優先順位	躯体や屋根等の建物維持、電気設備、空調、給排水の機能維持を優先。		

4. 施設利用者の需要

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	備考
利用者数	3,720	4,043	2,597	

5. 施設の維持管理に係る経費等

(単位：円)

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	備考
収 入	447,000	503,600	362,700	利用料、My stars system 登録料
保守コスト	1,679,572	6,548,092	2,006,968	
運用コスト	1,280,699	2,358,476	1,583,237	
修繕コスト	3,600	0	512,820	
支 出 計	2,963,871	8,906,568	4,103,025	

個別施設計画シート No.3

1. 基本情報

施設名	初山別村簡易郷土資料館	延床面積	1237.50 m ²
所在地	字豊岬 182 番地	建築年度	平成 9 年度
構造種別	RC 造 (鉄筋コンクリート造)	階 数	2 階
村防災計画上の位置づけ	指定避難所及び指定緊急避難場所		
本施設の機能及び重要性等			
郷土史に係る社会教育活動に活用。お盆の時期に夏季開館。それ以外は適宜対応。近年は住民主体の社会教育活動と連携し、令和 4 年度からコミュニティスポットを 1 階部分に併設予定。			

2. 施設の現況

現況写真	
	
	
劣化・損傷の状況や要因等	
令和 2 年度に隣接する旧豊岬中学校校舎が床の液状化等腐食が進んだため、当該施設の 2 階部分へ移設。移設後には、目立った劣化や損傷等は今のところ見られない。	

3. 計画期間内の個別施設計画

基本方針	存続	個別スケジュール	—
方針説明	年間 100~250 名程度の利用。現施設を維持。旧施設である豊岬中学校校舎は今後、解体を検討。		
優先順位	躯体や屋根等の建物維持、電気設備や給排水の機能維持を優先。		

4. 施設利用者の需要

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	備考
利用者数	150	171	76	

5. 施設の維持管理に係る経費等

(単位：円)

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	備考
収 入	0	0	0	
保守コスト	68,025	30,636	241,060	
運用コスト	337,279	288,864	797,427	
修繕コスト	0	0	0	
支 出 計	405,304	319,500	1,038,487	

個別施設計画シート No.4

1. 基本情報

施設名	初山別村スポーツセンター	延床面積	998.80 m ²
所在地	字初山別 173 番地 3	建築年度	昭和 45 年度
構造種別	S 造 (鉄骨造)	階 数	2 階
村防災計画上の位置づけ	備蓄倉庫、救助活動拠点、救援物資集積拠点		
本施設の機能及び重要性等			
村内外の個人団体により、社会体育活動や集会活動の拠点として活用されている。 また、冬期間は日中も開放し、村民の運動環境の向上に寄与している。			

2. 施設の現況

現況写真	
	
	
劣化・損傷の状況や要因等	
平成 13 年度に大規模改修を実施。近年は経年劣化により外壁の破損や照明の不点灯、暖房機の故障等、修繕や更新が必要になる場面が多い。	

3. 計画期間内の個別施設計画

基本方針	未定	個別スケジュール	—
方針説明	年間 2,000～3,000 名程度の利用。将来的には更新、統合、複合化等の方針を検討しつつ、当面は現施設を維持。		
優先順位	躯体や屋根等の建物維持、電気設備や空調、給排水の機能維持を優先。		

4. 施設利用者の需要

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	備考
利用者数	2,434	2,566	1,793	

5. 施設の維持管理に係る経費等

(単位：円)

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	備考
収 入	0	0	0	
保守コスト	93,138	93,606	84,788	
運用コスト	1,035,966	1,015,313	938,215	
修繕コスト	73,116	421,834	399,300	
支 出 計	1,202,220	1,530,753	1,422,303	

個別施設計画シート No.5

1. 基本情報

施設名	初山別村スキー場	延床面積	38.90 m ²
所在地	字初山別 155 番地 1	建築年度	昭和 63 年度
構造種別	W 造 (木造)	階 数	1 階
村防災計画上の位置づけ	-		
本施設の機能及び重要性等			
冬季 (1 月～3 月。近年は 1～2 月) のみ開設。敷地面積は 12,700.00 m ² 。村内小中学校による授業利用やスキー連盟によるスキー教室等の社会体育活動に活用されている。			

2. 施設の現況

現況写真	
	
	
劣化・損傷の状況や要因等	
平成 10 年度に管理棟建替、平成 16 年度にリフト更新を実施。近年は経年劣化により屋外照明の不点灯や、スノーモビルの老朽化等、修繕や更新が必要な箇所が多い。	

3. 計画期間内の個別施設計画

基本方針	未定	個別スケジュール	-
方針説明	年間 700～800 名程度の利用。当面は現施設を維持する。		
優先順位	躯体や屋根等の建物維持、電気設備や空調、給排水の機能維持を優先。		

4. 施設利用者の需要

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	備考
利用者数	739	128	682	令和元年度は 2/1～2/11 開設

5. 施設の維持管理に係る経費等

(単位：円)




年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	備考
収 入	0	0	0	平成 27 年度から無料化。
保守コスト	983,709	665,459	1,021,259	
運用コスト	339,059	455,647	289,911	
修繕コスト	92,696	93,720	89,958	
支 出 計	1,415,464	1,214,826	1,401,128	

個別施設計画シート No.6

1. 基本情報

施設名	初山別村スポーツ公園 野球場	延床面積	17.30 m ²
所在地	字初山別 183 番地 3	建築年度	昭和 58 年度
構造種別	RC（鉄筋コンクリート）造	階 数	1 階
村防災計画上の位置づけ	-		
本施設の機能及び重要性等			
冬季（12月～4月）は閉場。敷地面積は 19737.00 m ² 。村内外の個人及び軟式野球連盟や町内会（自治会）等の団体により、社会体育活動の拠点として活用されている。			

2. 施設の現況

現況写真	
	
	
劣化・損傷の状況や要因等	
平成 30 年度にバックネット等を補修。近年は経年劣化により照明の不点灯やフェンスの劣化、備品のトラクターの老朽化等、修繕や更新の必要性が高まっている箇所が多い。	

3. 計画期間内の個別施設計画

基本方針	存続	個別スケジュール	-
方針説明	年間 300～600 名程度の利用。当面は現施設を維持。		
優先順位	躯体や屋根等の建物や構造物の維持、電気設備等の機能維持を優先。		

4. 施設利用者の需要

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	備考
利用者数	612	319	27	

5. 施設の維持管理に係る経費等

(単位：円)

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	備考
収 入	24,570	9,450	0	照明使用料
保守コスト	82,027	12,427	35,627	
運用コスト	293,173	466,168	149,617	
修繕コスト	5,385,528	0	0	
支 出 計	5,760,728	478,595	185,244	

個別施設計画シート No.7

1. 基本情報

施設名	初山別村スポーツ公園 村民プール	延床面積	590.60 m ²
所在地	字初山別 183 番地 3	建築年度	平成 14 年度
構造種別	S 造（鉄骨造）造	階 数	1 階
村防災計画上の位置づけ	-		
本施設の機能及び重要性等			
夏季（7月～9月。近年は7～8月）のみ開設。村内小中学校による授業利用や水泳教室等の社会体育活動に活用されている。			

2. 施設の現況

現況写真	
	
	
劣化・損傷の状況や要因等	
建築後、大規模な補修や改修等は無し。近年は防水シートの水漏れや配管の破損、屋根板の腐食、シャワー設備の不調など、修繕や改修を要する箇所が多く見られる。	

3. 計画期間内の個別施設計画

基本方針	存続	個別スケジュール	-
方針説明	開館中は 500～700 名程度の利用。当面は現施設を維持。		
優先順位	躯体や屋根等の建物維持、電気設備や空調、給排水の機能維持を優先。		

4. 施設利用者の需要

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	備考
利用者数	651	503	403	

5. 施設の維持管理に係る経費等

(単位：円)

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	備考
収 入	0	0	0	
保守コスト	704,036	743,900	741,558	
運用コスト	768,429	770,370	814,197	
修繕コスト	842,119	614,736	790,790	
支 出 計	2,314,584	2,129,006	2,346,545	

個別施設計画シート No.8

1. 基本情報

施設名	豊岬体育館	延床面積	605.00 m ²
所在地	字豊岬 182 番地	建築年度	平成 4 年度
構造種別	S 造 (鉄骨造)	階 数	1 階
村防災計画上の位置づけ	指定避難所及び指定緊急避難場所		
本施設の機能及び重要性等			
トイレ及び簡易郷土資料館のある旧豊岬小学校校舎とは渡り廊下により接続。村内（特に近隣集落）の個人団体により社会体育活動や集会活動の拠点として活用されている。			

2. 施設の現況

現況写真	
	
	
劣化・損傷の状況や要因等	
平成 27 年度に渡り廊下及び外壁の修繕、平成 28 年度に屋根改修を実施。近年は経年劣化等により照明の不点灯、暖房機の故障等、修繕や更新が必要になる場面が多い。	

3. 計画期間内の個別施設計画

基本方針	未定	個別スケジュール	—
方針説明	年間 500～800 名程度の利用。将来的には更新、統合や複合化等の方針を検討しつつ、当面は現施設を維持。		
優先順位	躯体や屋根等の建物維持、電気設備や空調、給排水の機能維持を優先。		

4. 施設利用者の需要

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	備考
利用者数	685	517	825	

5. 施設の維持管理に係る経費等

(単位：円)

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	備考
収 入	0	0	0	
保守コスト	76,734	77,734	84,734	
運用コスト	640,125	648,895	680,922	
修繕コスト	110,106	13,500	6,380	
支 出 計	826,965	740,129	772,036	

個別施設計画シート No.9

1. 基本情報

施設名	有明体育館	延床面積	605.00 m ²
所在地	字有明 336 番地 1	建築年度	平成 16 年度
構造種別	S 造 (鉄骨)	階 数	1 階
村防災計画上の位置づけ	指定避難所及び指定緊急避難場所		
本施設の機能及び重要性等			
村内外の個人団体による社会体育活動や近隣住民の集会活動に活用されている。			

2. 施設の現況

現況写真	
	
	
劣化・損傷の状況や要因等	
平成 17 年度に大規模改修を実施。近年は経年劣化によりステージ横の倉庫、館内東側及び入口側の床について液状化が発生している。また、トイレのある別棟の倉庫側の壁について、冬季の圧雪等による破損が部分的に見られる。	

3. 計画期間内の個別施設計画

基本方針	未定	個別スケジュール	—
方針説明	年間 200~400 名程度の利用。将来的には更新、廃止、統合や複合化等の方針を検討するが、当面は現施設を維持。		
優先順位	躯体や屋根等の建物維持、電気設備や空調、給排水の機能維持を優先。		

4. 施設利用者の需要

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	備考
利用者数	437	235	217	

5. 施設の維持管理に係る経費等

(単位：円)

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	備考
収 入	0	0	0	
保守コスト	24,457	16,033	16,033	
運用コスト	535,231	691,595	538,758	
修繕コスト	37,692	0	83,050	
支 出 計	597,380	707,628	637,841	